

第9巻 2・3年 下【1】

Chapter	Page	Title	Time
C-1	口絵1、2	受け継がれる祖国への思い スメタナホール（プラハ市役所）	(1:21)
C-2		プラハの春音楽祭 ダイジェスト収録 ファンファーレ 歌劇「リブシェ」より（スメタナ 作曲） チェコ国歌「我が故郷は何処に」（フランティšek・ヤン・シュクロウプ 作曲） 連作交響詩「我が祖国」（スメタナ 作曲） 指揮：イルジー・ビエロフラーヴェク／プラハ音楽院交響楽団	(5:07)
C-3	P.30、31	曲のよさをプレゼンテーションしよう。 組曲「展覧会の絵」から（ムソルグスキー 作曲／ラヴェル 編曲） 第2曲 古城	(4:48)
C-4		第5曲 卵の殻をつけたひなどりのバレエ	(1:15)
C-5		第10曲 キエフの大きな門 指揮：サイモン・ラトル／ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	(5:57)
C-6～20	参考	組曲「展覧会の絵」全曲（ムソルグスキー 作曲／ラヴェル 編曲） ①プロムナード ②第1曲 小人（グノーム） ③プロムナード（Ⅱ） ④第2曲 古城 ⑤プロムナード（Ⅲ） ⑥第3曲 テュイルリーの庭―遊んだあとの子どものけんか― ⑦第4曲 プイドロ ⑧プロムナード（Ⅳ） ⑨第5曲 卵の殻をつけたひなどりのバレエ ⑩第6曲 ザムエル ゴルデンベルクとシュムイル ⑪第7曲 リモージュの市場 ⑫第8曲 カタコンブ―ローマ時代の墓― ⑬死者のこばをもつて死者とともに（プロムナード） ⑭第9曲 鶏の足の上に建っている小屋 ⑮第10曲 キエフの大きな門 指揮：サイモン・ラトル／ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	(34:27)
C-21～30	P.32、33	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。 ブルタバ（モルダウ）（連作交響詩「我が祖国」から）（スメタナ 作曲） A ブルタバの2つの源流 第1の源流（フルート） 第2の源流（クラリネット） ブルタバを表す旋律（ヴァイオリン、オーボエ） B 森の狩猟（ホルン） C 農民の結婚式（ヴァイオリン、クラリネット） D 月の光、水の精の踊り（フルート、ヴァイオリン） ブルタバを表す旋律（ヴァイオリン、オーボエ） E 聖ヨハネの急流（金管楽器、チェロ、コントラバス） F 幅広く流れるブルタバ（木管楽器、ヴァイオリン） G ビシェフラトの動機（フルート、ピッコロ） 指揮：ヤン・ハルベツキー／チェコ・ナショナル交響楽団	(12:13)
C-31	参考	交響詩「我が祖国」から 第1曲「ビシェフラト」 指揮：ヤン・ハルベツキー／チェコ・ナショナル交響楽団	(15:36)
C-32	P.33	Challenge!! 祖国への思いが託された他の曲も聴いてみましょう。 交響詩「フィンランディア」（シベリウス 作曲） 指揮：ヤン・ハルベツキー／チェコ・ナショナル交響楽団	(9:14)
C-33	参考	スメタナの他の曲 歌劇「売られた花嫁」序曲（スメタナ 作曲） 指揮：森 彰／東京交響楽団	(6:59)